

令和6年度 第3回学校運営協議会（学校魅力強化委員会）議事録

1 期 日：令和6年10月1日（火）15：00～17：00

2 場 所：有田工業高校 会議室

3 出席者：校長を含む9名　うち欠席4名
事務局（本校職員）13名　うち代理出席2名

4 会次第及び議事録

(1) 開 会

(2) 学校長挨拶

以下の5点について説明及び報告し、お礼を含めて挨拶とした。

- ①第2回学校運営協議会の紙面開催についての経緯説明とお礼
- ②甲子園出場に際しての支援・寄付についてのお礼
- ③1学期の学校行事の実施状況について（体験入学、セラミック科展、マイコンカーラリー、インターンシップ、デザイン科展）の報告
- ④2学期実施予定の学校行事について（国スポ・全障スポ、本校の体育祭・文化祭）
- ⑤高校入試に係る第1回進路希望調査の状況報告

(3) 説明・報告事項 *進行は会長

①グランドデザインについて

- ・第1回学校運営協議会の意見交換において、各委員から頂いた意見を反映させて修正した新しいデザイン画のグランドデザインについて説明を行った。

②地域みらい留学（全国募集）の取組状況について

- ・本年度の地域みらい留学にかかるオンライン説明会、オープンスクールの実施状況について説明を行った。
- ・地域みらい留学の支援事業（ハウスマスター制度、有田町からの生活支援金の給付、住まいのオーナー会議）について説明を行った。
- ・地域みらい留学生をサポートする有志団体（有工会長を世話役とする）の活動について紹介した。

意見：説明があったハウスマスター制度は、地域みらい留学生の全員がサポートされているものではないことを学校運営協議会の委員のみなさんに情報共有したい。また、ハウスマスターさん方が企画した花火大会では、ハウスマスター制度を利用していない地域みらい留学生が含まれていなかったこともあったということでした。全員に呼びかけていない点については把握してあるか？素朴な疑問だが、いかがなものか。

回答：ハウスマスター企画の花火大会については、地域みらい留学生の保護者への連絡にとどまっていた。全員に呼びかけられてないことは把握できていなかった。地域みらい留学担当としては、みんなに呼びかけられるよう改善に努めたい。

質問：昨年度この学校運営協議会で報告されている地域みらい留学生の生活で、食生活の乱れが挙げられていたが、今年度の問題点は何か見られるか。

回答：昨年度、食生活に課題がある生徒がいたという報告を受けている。昨年度、保護者との面談の中で、食生活の課題が挙げられ、昼食については担当職員で弁当を注文するなど対応してきた。今年度も保護者との面談を通して、引き続き弁当注文をするようにしている。今年度は、複数の生徒が弁当注文をしており、昨年度より注文数が多い状況である。新入生歓迎食事会でお世話になったキッチンランマのオーナーから食事のお誘いを時折受けているようです。

質問：ロータリークラブでも有工生に関わっているが、有工のインターアクト部が地域連携で

行っている活動で「子ども食堂」がある。地域みらい留学生の一部の生徒が、お手伝いに行つて、この子ども食堂で食事をお世話になっている。

あと1つ、もしよければ、在籍している地域みらい留学生の近況報告をお願いしたい。

回答:セラミック科長及びデザイン科長より在籍している地域みらい留学生10人の近況について報告。

遠方より親元を離れて入学し、多くの生徒が部活動にも所属し、休日も忙しい学校生活を送っている。各種コンテストへの応募も積極的で入賞も多く、一般生徒をリードする存在の地域みらい留学生もいる。長期休業を利用して、海外への短期留学をしている生徒もいる。進路面でも、国公立大学を目指して勉学に励んでいる生徒もいる。(詳細については、個人情報があるので、この議事録では割愛)。

(4) 協議事項

○「地域学習の日」について

- ・担当職員より、第2回学校運営協議会の意見交換で提示いただいた、2年生の地元企業訪問の訪問先候補、1年生の有田町の史跡散策の訪問先候補、講演会の講師候補について現段階で策定している計画について説明を行った。

報告:2年生の地元企業訪問のバスの予算は、県の事業で、「SAGA県内企業トリプルツアープロジェクト事業」という予算を使えることが分かり、これから計画書を提出し、その計画が認められれば予算を配当してもらえるということになった。

(5) 意見交換 *進行は学校魅力化コーディネーター

○第1回高校魅力化評価アンケートの結果を受けて

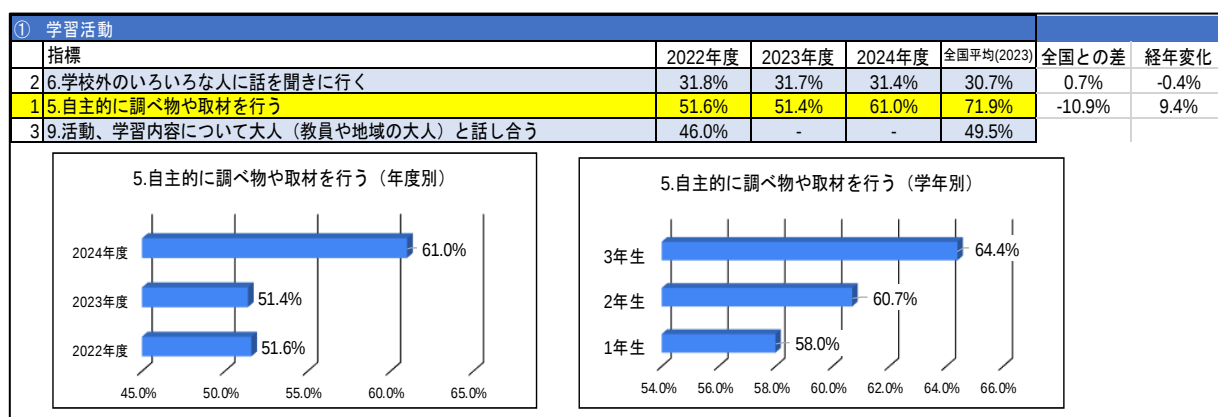
① アンケート結果について説明

- ・担当職員より、第1回高校魅力化評価アンケートの結果について説明を行った。

② 生徒との意見交換

- ・出席生徒4名:機械科3年生Oさん、デザイン科2年生Mさん、機械科3年生Nさん、デザイン科2年生Tさん

【意見交換1】「学習活動について自主的に調べ物や取材を行うについて」



進行:学習活動について、「自主的に調べ物や取材を行う」についてです。学年別のデータを見ると、学年を経るごとにその割合が増え、3年生では、64.4%という結果になっていますが、どのように考えますか？

意見: (生徒O)理由は2つあると思う。1つ目は課題研究です。課題研究という授業が週に3時間もあり、それに加え課題研究発表会や卒業制作展といった学校行事があるからだと思います。2つ目は、就職試験です。3年生になると本格的に就職試験に向けた活動が始まります。自分の行きたい企業について調べ、先生方と一緒に面接試験の対策を講じるので、自主的な調べものが増えていると思います。

【意見交換 2】「地域から大切にされている雰囲気を感じる」

② 学習環境						
指標	2022年度	2023年度	2024年度	全国平均(2023)	全国との差	経年変化
3 26.自分が何かに挑戦しようと思ったとき、周りは手を差し伸べてくれる	86.9%	89.9%	90.7%	90.8%	-0.1%	3.8%
1 19.地域から大切にされている雰囲気を感じる	73.5%	83.7%	-	79.6%	4.10%	
2 21.挑戦する人に対して、応援する雰囲気がある	90.4%	92.0%	-	92.3%		
4 33.目標や当事者意識を持って挑戦している人がいる	75.7%	80.7%	-	84.7%		
5 27.自分と異なる立場や役割を持つ人との関わりがある	79.4%	84.4%	-	85.3%		

19.地域から大切にされている雰囲気を感じる
(年度別)

年度	割合
2024年度	70.0%
2023年度	83.7%
2022年度	73.5%

19.地域から大切にされている雰囲気を感じる
(2023年度・学年別)

学年	割合
3年生	90.2%
2年生	79.5%
1年生	80.8%

進行：今年度は、アンケートの結果が出ていませんが、年度別にみると、2023年度は83.7%と前年度+10.2%となっています。また、学年別にみると3年生で最も多く90.2%となっていますが、どのように考えますか。

意見：(生徒 T)「地域から大切にされている雰囲気を感じる」という項目についてです。年度別のグラフを見てみると、2022年度から比べて10ポイント上がっているのは、コロナから解放されたっていうのが大きいと思います。私も登下校時に、道ですれ違う人と挨拶を交わしたりすることが増えた感じがします。3年生が一番感じていると思うので、その3年生が伸びている結果に繋がったのではないかと思います。

【意見交換 3】「将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある」

③ 自己認識						
指標	2022年度	2023年度	2024年度	全国平均(2023)	全国との差	経年変化
3 67.学校で学習することで、自分ができることやしたいことが増えている	80.2%	83.0%	85.2%	80.6%	4.6%	5.0%
5 37.うまくいくか分からないことにも意欲的に取り組む	79.1%	75.0%	77.1%	76.6%	0.5%	-2.0%
1 51.自分にはよいところがあると思う	71.7%	75.2%	73.6%	77.8%	-4.2%	1.9%
2 58.将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある	62.8%	66.3%	58.6%	66.4%	-7.8%	-4.2%
4 39.現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる	66.6%	64.9%	65.0%	72.8%	-7.8%	-1.6%

67.学校で学習することで自分ができることやしたいことが増えている (年度別)

年度	割合
2024年度	85.2%
2023年度	83.0%
2022年度	80.2%

58.将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある (年度別)

年度	割合
2024年度	58.6%
2023年度	66.3%
2022年度	62.8%

進行：(コーディネーター)「将来、自分の住んでいる地域のために役立ちたいという気持ちがある」という項目についてです。全国平均との差が-7.8%となっていますが、どのように考えますか。

意見：(生徒 N) 私は将来、都会で働きたいという気持ちがあるからだと思います。生まれ育った土地への愛情も愛着もあると思いますが、それ以上に都会への憧れがあり、3年生では就職先を選ぶにあたって都会で働きたいという人が多くいるからだと思います。若い頃は、都会で働き、のちのちは生まれ育った土地で過ごしたいと思うようになるかもしれません。全国平均より7.8%も低いのではないかと思います。

【意見交換 4】「地域社会などでボランティア活動した」

④ 行動実績						
指標	2022年度	2023年度	2024年度	全国平均(2023)	全国との差	経年変化
1 71.授業で分からないことについて、自分から質問したり、分かる人に聞きにいったりした	69.8%	72.2%	78.3%	77.0%	1.3%	8.5%
3 70.地域社会などでボランティア活動に参加した	33.7%	31.7%	23.3%	23.6%	-0.3%	-10.4%
2 74.授業で興味・関心を持った内容について、自主的に調べ物を行った	59.9%	57.1%	55.7%	59.0%	-3.3%	-4.2%

70.地域社会などでボランティア活動に参加した
(年度別)

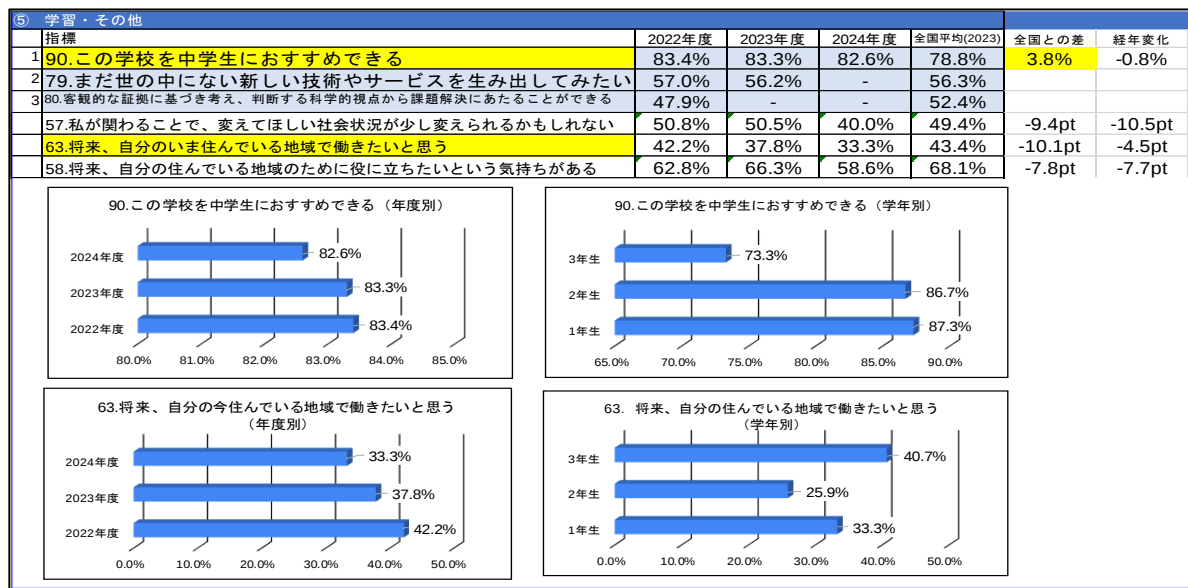
年度	割合
2024年度	23.3%
2023年度	31.7%
2022年度	33.7%

70.地域社会などでボランティア活動に参加した
(学年別)

学年	割合
3年生	28.1%
2年生	24.4%
1年生	18.0%

進行：(コーディネーター)「地域社会などでボランティア活動に参加した」という項目についてです。全国平均とあまり差はなく、全校生徒の約3割がボランティアを経験しているようです。今後、地域におけるボランティアの紹介などを学校内でも進めていきたいと思っています。(この項目の生徒意見は割愛)

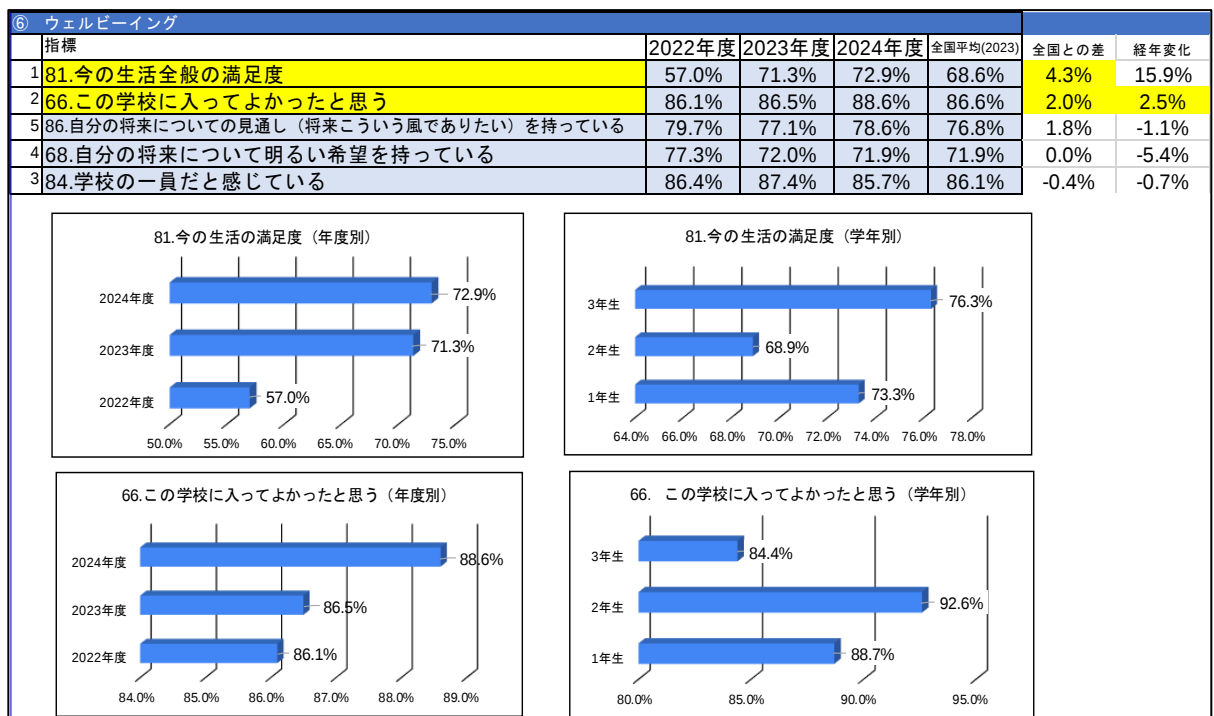
【意見交換 5】「将来、自分の住んでいる地域で働きたいと思う」



進行：（コーディネーター）「この学校を中学生にすすめてできる」という項目については、概ね8割以上の生徒がお勧めできるという結果になっています。学年別のデータで3年生だけが73.3%と1・2年生よりも低い結果になっているのが気になりますが、学校内でその要因をリサーチしたいと思います。ここでは「将来自分の住んでいる地域で働きたいと思う」について、意見を聞きたいと思います。

意見：（生徒M）年度別データで年々、住んでいるところで働きたいと思う人が少なくなっている点については、就職や進学を考えた時に自分の行きたいところが県外にあり、自分の住んでる地域で働きたいと思うところがないことが理由だと思います。学年別データでは2年生が一番少ないのですが、有工生は佐賀方面や佐世保方面など様々な所から来ています。私はデザイン科2年生ですが、他の友達とかと話をした時に、自分の住んでる地域より県外を希望している人が多かったように感じます。

【意見交換 6】「今の生活の満足度」「この学校に入ってよかったと思う」



進行：（コーディネーター）「今の生活全般の満足度」「この学校に入ってよかったと思う」という項目についてです。全国平均を上回る結果となっております。年度別に見ると約7割まで増えています。学年別ではばらつきがある結果となっています。「この学校に入ってよかったと思う」は、年度を経るごとにポイントアップして

おり、いずれも 85%を超えています。この結果について、生徒のみなさんの意見を発表してもらいたいと思います。

意見：(生徒 O) 私は、「この学校に入ってよかったと思う」において、2 年生と 1 年生が高く、3 年生が低い理由は、3 年生はまだ 1 年生の頃、コロナ禍の中で様々な制限があり、学校行事も制限された中で行うことが多かったので、その魅力が伝わりきれていない部分があると思います。自分たちが 2 年生の頃からその制限からほぼ解放されて、有田工業高校の本来の姿の学校行事に取り組むことができ、その魅力を存分に味わうことができているので、この学校に入ってよかったと思うという項目が高くなっていると思います。

意見：(生徒 B) 私は「この学校に入ってよかったと思う」における年度別のグラフで年々上がり続けているのを見て、これからも、もっと上がっていくといいなと思っています。その理由としては、先生と生徒の仲が良く、ちょっとしたことでも相談に乗ってくださる環境があるからです。また、学習環境が整えられているのも勉強のモチベーションアップに繋がり、高くなってくると思います。学年別で見ると、2 年生がすごく伸びていますが、おそらく遠距離通学している人が、2 年生は少し多く、私も唐津から通っていますが、中学 3 年生の時、進路決定という段階で、遠いところに通うというのは少し壁が高くて決断するまでに結構時間がかかり、多分そういう部分で学校に通う意義をきちんと見いだせているところが大きいのではないかなと思います。

意見：(生徒 N) 私は学校行事の「30 キロマラソン」が影響しているのではないかと思います。私は 1 年生の頃、コロナ禍で 30 キロマラソンが中止となり、走ることができませんでした。2 年生の時は 30 キロマラソンを走ることができました。それは地域の方々の助け合いがあったからだだと思います。また、学年別データで 2 年生が一番多いのは、高校入試の倍率が関係あると思います。有工は、他の学校にはないセラミック科やデザイン科があり、自分のやりたいことができるというのが良さだと思います。入試の倍率が、全体的に今の 2 年生が一番高く、そもそも難しかったので、よりこの学校に入りたいと思う人が多いので、それに関連して、この学校に入ってよかったと思う人が多いのだと思います。

②全体での意見交換

進行：(コーディネーター) データとか見てこの協議会への参加に向けて、事前に勉強して意見をまとめてきてくれたと思います。ありがとうございます。
ここから、委員のみなさまも含めて全体での意見交換を 10 分ほど行います。何かご意見等ございますでしょうか。

質問：(委員 M) 今の中学生に有田工業高校の良さを伝えたいと思っていますが、「この学校を中学生にお勧めできる」が 82.6%と非常に高いのですが、中学生にむけて「有工の推し」「魅力」を挙げるとすれば何でしょうか。

意見：(生徒 O) 私が中学生にお勧めできる部分は、学校行事が多く、高校特有のボランティア、体育祭、30 キロマラソン等の学校行事が魅力だと私は思っています。もう 1 つ、資格取得とか結構積極的にできる環境が整っていることです。

意見：(生徒 T) 私は、地域みらい留学生がセラミック科とかデザイン科に在籍していることです。佐賀県以外の出身の中学生がいることがすごく魅力的だと思います。また、デザイン科にはアップル社のマックのパソコン室に 1 人 1 台あることです。

意見：(生徒 N) 私は生徒会の活動で、姉妹校交流会です。石川県や香川県の学校との関わりがあるところにとっても魅力を感じました。

意見：(生徒 M) 私は、部活動が活発なことです。上位大会進出や文化部もコンテストなどでの受賞が多いことです。今年も甲子園に行ったり、あらゆる部活動がいろんな成績を残したりしているところです。

質問：(委員 N) 「今、住んでいる地域で働きたいと思う人」が少ないのは、この年代の高校生では当然かなという感じですが、具体的にどこで働いてみたいとかありますか。今でも、東京に行きたい人が多いのかなと思うんですがお聞かせください。

意見：(生徒 O) 私は、就職試験が終わって、長崎県の三菱重工長崎造船所に就職内定しています。東京とか、都会に憧れはなかったです。自分がやりたい職業が、護衛艦を作ること、ものをつくる企業に携わる仕事がしたかったので受験しました。やはり自分がやりたい仕事の場所が限られてくるので、佐賀県や有田町から出て行きたい気持ちはありました。

意見：(生徒 T) 私は佐世保に住んでいて、県境を越えて通学しています。有田や長崎で働きたいという考えはあまりなくて、いろんな所に出て経験を積みたいという考えで就職活動をしました。自動車関係の仕事に就きたいというところで日産自動車から内定をいただくことができました。生産・技能者に就きたいと調べるうちに、関東の方に行きたいという希望となりました。

意見：(生徒 N) 私は、大阪芸大に進学したいと思っています。自分がやりたいことがあったのが、関東や関西に多かったからです。自分がやりたいことが近くにあったら、九州内に就職や進学します。地域をそこまで深く考えてないが、できれば自分の住んでる地域で働いたり、学んだりしたいと思っています。

質問：(委員 O) なぜみなさんがこの有田工業高校に行きたいと思ったのでしょうか。その理由をお聞きしたいと思います。

意見：(生徒 O) 私は中学校 3 年生の夏休み前に志望校を有工に決めました。結構遅い時期でしたが、もともと工業高校には進みたいとずっと思っていて、私の祖父が鉄工所を経営していて、小さな頃からものづくりに触れる機会は多かったので、自分もものづくりに携わる仕事に就きたいと思っていました。そして、伊万里出身なので、有田工業高校が近く、部活の先輩も在籍されているという安心感もあり有田工業高校に決めました。

意見：(生徒 T) 私は小さい頃から絵を描くこと、小学生の図画工作の授業が大好きで、コンテストで入選した時に、舞い上がるくらい嬉しくて、中学生になり高校の進路を決める時に、普通科高校から大学進学してから就職するという道も考えましたが、有田工業高校のデザイン科が、「人のためになる、デザインを自分が考えて、力をつけることができる」というところがすごく魅力的で決めました。

意見：(生徒 N) 小さい頃からものづくりが好きで、工作とか折り紙とかいろんなことをしてきました。有田工業の機械科は、1 年生から 3 年生まで、いろんなことを幅広く学ぶことができるからです。この前、中学生が体験入学に来た時に、旋盤作業を教える機会があって、三年間で説明できるまで学ぶことができたことに自分の成長を感じ取ることができました。

意見：(生徒 M) 私は、有田工業に決めたのは中学校 1 年生の時でした。父が有工卒で、オープンスクールに参加したり、文化祭で有工の生徒の姿を見たりして、みんな明るくて楽しそうだったので、有工に行きたいと思いました。デザインのことに特化して学べるということが魅力的だったので有工に決めました。

質問：(委員 F) 私は U ターンして帰ってきました。「将来、自分の住んでいる地域のために役立ちたいという気持ちがある」という質問に関連して、やりたいことがそこにあったから就職や進学して、ほかの地域を選んだという回答が多かったと思いますが、例えば、20 代後半～30 代で、10 年以上経った後に、地元に戻ってきたいと思うかを教えてください。

意見：(生徒 O) 10 年とか 20 年経ってみないと分からないんですけど、自分はやっぱり、特殊な護衛艦を作りたいって思っていたので、おそらく戻ってくることはないと思います。

意見：(生徒 T) 私はデザインの中でも、特定のジャンルに進みたいというのがまだ決まっていません。環境デザイン、都市計画デザインに興味があり、佐賀県の地域の人達が暮らしやすくなるような建物や環境整備に携われるような仕事に就けたらと考えているので、地元志向です。

意見：(生徒 N) 私は関東に行く予定ですが、何も分からない状態で行くので、何とも言えないです。とりあえず仕事は続けようと思います。仕事を続けて、退職してお金があって時間が余ってきた時は、こっちに帰ってきて生活しようかなと考えています。

意見：(生徒 M) 私は、長崎より佐賀が大好きで有工に来て、自分が就職した後に、40～50 代になってまた帰ってきたいかと言われたら、帰ってきたいです。今は、まだ分からないのですが、自分は映像系に進み、そういう関連で有田や佐賀に貢献したいと思っています。

質問：(委員 F) 先ほど、「中学生に対しておすすめポイント」で、地域みらい留学の学生がいることが 1 つ上がったんですが、県外から来た生徒がいることの魅力ってどういった点がありますか。科が違うので答えられる範囲で、どのような点が魅力なのかを教えてください。

意見：(生徒 O) 自分の生まれた土地と全く違う土地から来られた方との交流は楽しい部

分があるので、そこは魅力だと思います。

意見：(生徒 T) 私は福岡出身の友達とすごく仲が良く、それぞれ自分たちが住んでる地域のことについての話題や方言の違いで、話が盛り上がります。そういうのを通して、改めて自分が住んでる地域の特徴を知ることができ、相手が住んでいる地域のことを知ることができ、視野が広がるような気がします。

意見：(生徒 N) 私は、住んでいる地域から離れて、遠くから、あまり親しい人がいない状態で入学しましたが、ある程度、気が許せる知り合いがいて、高校生活で楽しめる環境がとても大事だと思ってました。地域みらい留学は、親元を離れ、住み慣れた地域を離れ、とても勇気が必要だったと思います。そういう点で、この学校に相当の魅力があるということだと思います。

意見：(生徒 M) 自分のクラスでは、鹿児島から来た生徒がいて、話を聞くと、有工のホームページや地域みらい留学のホームページを見て、有工の良さ感じられたようです。有工は、魅力発信がしっかりなされていて、相当の魅力があることだと思います。

質問：(委員 T) 3年生ということは、去年の地域学習の日で、有田町の工場や会社見学したと思いますが、行く行かないに関わらず、地元にもやっぱり元気な会社と工場があるっていうのを見て、地元の工場や会社をどのように思ったか是非教えてください。

意見：(生徒 O) 自分は県外に就職しますが、有田町内の様々な企業を見学しました。地元の企業の方々が、力強く働かれている姿を見て安心します。自分のクラスで地元に残る生徒は、地元で貢献したいと思っています。小さな頃から地元の大人の方々が頑張っている姿を見て安心できると言っていました。

意見：(生徒 T) 私は、企業訪問していないので、何も言えないですけど、有田町内を散歩する傍ら、資料館等に行き感じたことは、ここに住まれている方々が、有田町に誇りを持って有田焼を大切に、伝統を伝えたい残したい、もっといろんな人に知ってもらいたいという思いがすごく伝わってくる町だと感じました。

意見：(生徒 N) 私は、佐賀県以外にも工場見学しました。福岡と佐賀では環境が違い、佐賀県の有田の会社の方々を見て、みんな生き生きと仲良く仕事をしっかりされていると感じました。

意見：(生徒 M) 自分もまだ、工場見学と行ってないですが、有田ケーブルテレビでのインターネットで感じたことは、有田の人は、みんな温かく出迎えてくれて、優しさに包まれている感じがしました。そういうところが有田の良さで、自分は好きです。

質問：(委員 S) 私も生まれた頃からずっと有田に住んでいて、有田の人みんな有工が大好きです。先ほど「優しさに包まれている」っておっしゃっていただいて、すごく嬉しいと思いました。みなさん有工の魅力についてたくさんお話していただきましたが、有田という土地に関してどのような印象を持たれたか教えてください。また、高校生の立場で、有田の不便だと思う点があったら教えてください。

意見：(生徒 O) 自分は伊万里出身ですが、有田の人も、結構フレンドリーだと思います。初対面の自分にも、地域の行事に参加する際は、入りやすい雰囲気です。

意見：(生徒 T) 私は唐津に住んでいて、有田町、有田焼と聞いた時にひっそりした職人の街みたいなイメージがありました。いざ街を歩いてみると、温かい人ばかりでした。たまに早めに登校する日がありますが、道ですれ違くと、小学生や子どもたちを見守っている地域の方たちも、挨拶してくれます。すごく安心感を抱きました。唯一思うのは、交通の便が悪いことです。

意見：(生徒 N) 私は、有田の方や駅の方が、とても優しく挨拶を返してくれることです。アルバイトの経験がありますが、いろんな地域の方々に支えてもらっている感じがしました。

意見：(生徒 M) 自分は長崎に住んでますが、有田は優しい。私は、放送部に所属していて、放送の取材で有田の人と関わったりすることがありますが、その時に本当に優しく話してくれたり、その場が和むような会話をしたりしてくれました。有田の不便だと思うところは、電車の時間で待ち時間ができるところがあり交通が不便だと思うことがあります。

進行：(コーディネーター) 生徒のみなさんから委員のみなさんに質問したいことはありますか。

質問：(生徒 T) 私は、有田町の魅力をもっと知りたいと思ってます。大人の視点で、有田の魅力を教えてください。

意見：(委員 F) 経済的な話で言うと、平均所得は低いですが、逆に言うとそれでも残っている人達がいるってことです。つまり、自分がその場で生きたいから、そこで生きる決めてるので、そもそもピュアな人が多いし、自分のこうやりたいことを貫き通している方がいるということが魅力だと思います。何度も聞かれたと思いますが、歴史をずっと重ねてきているので、引き継がれた感性が、すごく魅力的なものがあることです。最近、東京行くとすごくげんなりしてしまいます。理由としては、東京は建物が多くて、四角いものばかりですが、有田に帰ってくるとそうではなく、バラエティに富んだ建物ものがあるので、そこはとても魅力的だと思います。

進行：(コーディネーター) 生徒のみなさん、本当に素晴らしい意見の発表ありがとうございました。

(6) 諸連絡

○第4回学校運営協議会について(5分)

- ・第4回については11月上旬に実施予定。

(7) 閉 会

校長より

意見交換ありがとうございました。生徒のみなさんも、貴重な意見を発表いただき、また委員のみなさまと意見交換が有意義にできたのではないかと考えております。選ばれし4人でしたので、確かなきちんとした意見が述べられていて非常によかったなと考えております。本日はお忙しい中、貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。また、今後の学校運営に生かして行きたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。